

子どもの本だな 68

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

のろまなローラー

小出 正吾 さく 山本 忠敬 え (福音館書店)
ローラーが、おもいくるまをころがしながらゆっくり進んでいました。すると、うしろから大きなトラックがやってきて「じゃまだよ、じゃまだよ、どいたり、どいたり」と追い越していきました。つづいて、りっぱな自動車、小型の自動車に追い越されます。ローラーがゆっくりとでこぼこ道をたいらにしていくと、道端にさっきの大きなトラック、りっぱな自動車、小型の自動車がパンクしてとまっていた。パンクを直した自動車たちは、ローラーのおかげで道がきれいになると、お礼を言って走っていきました。

単純化した背景の上に、主人公の自動車たちをはっきりした色で描いた絵は、わかりやすく味わいがあります。ゆったりしたリズムで素朴な文章は、幼い子にもよくわかり、みんなに認められる喜びを味わうことでしょう。読んでもらえば3歳から楽しめます。

(西村)

ふくろ小路一番地

イーヴ・ガーネット 作 石井 桃子 訳 (岩波書店)
ふくろ小路一番地に、ラッグルス一家が住んでいました。ごみ収集屋のだんなさんと、洗濯屋のおかみさん、子どもは12歳のリリー・ローズから赤ん坊のウィリアムまで7人います。

ある日、学校から帰ったリリー・ローズは、お客さんの洗濯物の山を見て、素晴らしい事を思いつきました。アイロンかけをすませて、かあちゃんを驚かせようと考えたのです。リリー・ローズは、赤ちゃんのオーバーオールを上手く仕上げ、次に緑のペチコートにアイロンをあてました。ところがペチコートはチリチリチリと縮み始め、人形の服のように小さくなってしまいました。(「リリー・ローズとみどりのペチコート」)

ロンドン郊外の小さな町を舞台に、貧しいながらも楽しく暮らす家族のお話。ほかにも、双子の弟たちが少年ギャングに入り冒険にのりだす話や、とうちゃんが、収集したゴミの中から大金を見つける話など、一家の巻き起こす愉快な出来事が生き生きと描かれています。10歳くらいから。(池之上)

6月	7月	6・7月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
13日	11日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
20日	18日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
27日	25日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:30

<お知らせ>
えほん・おはなしスタンプラリー

問題に答えて、スタンプを集めよう!たくさん集まったらプレゼントがもらえるよ!
※子ども対象のスタンプラリーです。
※期間は6月30日(日)までです。

一日図書館員の募集

本の整理、貸出や分類など、図書館の仕事を経験してみませんか?

・日時: 7月21日(日)
9:15~18:00

・対象: 小学6年生~高校生

・定員: 3名

・締切: 7月15日(月・祝)

※本人来館の上、窓口で申込んでください。

『よくできた女』 ひと パーバラ・ピム 著

芦津 かおり 訳 みすず書房 353頁 2010年11月刊 3,000円 (請求記号) Fピム

第二次世界大戦後まもないロンドン。三十過ぎのミルドレッドは、午前中は貧窮した女性を援助する非常勤の仕事をし、午後は仲のよい牧師姉弟のもと教会活動をして穏やかに暮らしている。

ミルドレッドのフラットの階下に華やかな夫婦が越してきた。夫ロッキーマンはハンサムで陽気な海軍将校、妻のヘレナは美人だが、家事にはだらしない文化人類学者。図らずも型破りな夫妻とのつきあいが始まった。お茶をいっしょに飲んだり、ヘレナの学会発表を聞きに行ったりするうち、ミルドレッドは、ヘレナが学者仲間へ好意を寄せていることに気づく。分別なしにふるまうヘレナに困惑した男性から相談を受けた矢先、夫妻の離婚騒動が起こる。夫妻の家具の取り合いに巻き込まれたうえ、弟の婚約で牧師館を追い出された牧師の姉が、ミルドレッドのもとに転がり込む。

「人生なんて…悲劇的な大事件というよりは、ささいだけれども不愉快なことが起こったり、劇的な拒絶や歴史に残るような（あるいは小説のよいうな）大恋愛というよりは、ちよつとした役にもたたない憧れに心をときめかせることのほうが多いのです。」友人の仕事の愚痴を聞き流しながら、ミルドレッドがふと感じたとおり、この作品は日常の人間模様を描き、大きな出来事は起こらない。しかし、ミルドレッドの心の動きが一人称で鮮明に語られ、生身の人間を見ているようなおもしろさがある。

(竹内)

6月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

毎週土曜日に「おはなしの時間」を開いています。

- ・4歳～2年生 11:00～
- ・3年生～中3 11:30～

6月のおはなしは「こぶじいさま」「ラプンツェル」「鼻高たいこ」などを予定しています。詳しくはプログラムをご覧ください。

- * カレンダーの×印は休館日
- * は館内整理日
返却のみ受付(10:00～17:00)
- * 開館時間は10:00～18:00
金曜日は20:00まで開館

地下水

暖かさよりも暑さを感じる季節になってきた。日差しが強く、少し外を歩いただけですーツが汗ばんでくる。しかし一番はこれからである。去年の夏は、異常と言っても過言ではないほどに暑かったが、今年の夏も例年以上になりそうで、今から熱中症の心配している。

そんな心配をよそに、図書館には多くの子どもが訪れて、元気な姿を見せてくれる。子どもを対象にしたスタンプラリーを実施しているためか、いつも以上に図書館に子どもの姿が見られる。絵本やおはなしの本を読み、簡単なクイズに答えて、正解すればスタンプを押してもらえると、正解すればスタンプを押してもらえると、これが大変好評であった。本に触れる機会が増えるのはもちろん、普段は読まない本に出会うきっかけにもなっているようだ。スタンプを押してもらえると、子どもにとっては十分嬉しいようで、積極的に本を借りてくれている。

緊張した面持ちで、クイズの答えを持ってきた子どもが、全問正解していると分かる。自然と笑顔を見せる。そんな様子にこちらも元気をもらっている。

(光藤)

